

1981  INVENTIONS

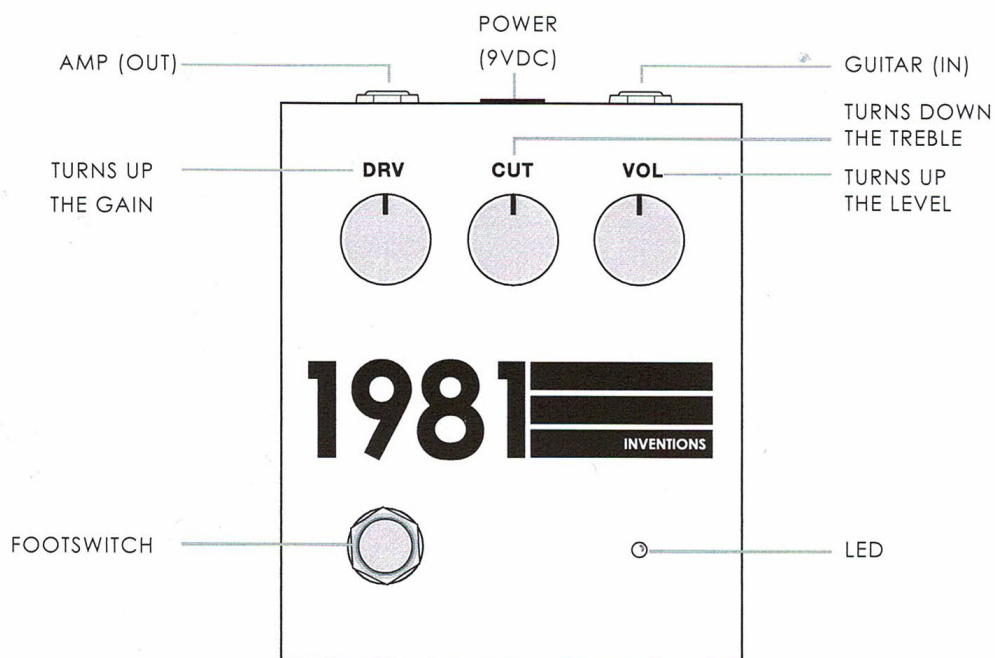
DRV MANUAL

(株)アンブレラカンパニー

www.umbrella-company.jp

* この取扱説明書は株式会社アンブレラカンパニーが正規に販売する製品専用のオリジナル制作物です。

無断での利用、配布、複製などを固く禁じます。



IN/OUT

ペダルを上から見たとき、右のジャックが楽器のインプット、左がアンプへの出力になります。

PWR

スタンダードな9Vセンターマイナスの電源アダプターで動作します。9V電池は使用できません。

※9V以上のアダプターを接続しないでください。ペダル内部のパーツが耐えられず故障する可能性があります。DRVは内部のチャージポンプ回路で18Vへ昇圧することで透明感のあるサウンドを達成しています。

DRV - TURNS UP THE GAIN

ギター信号へ混ぜるディストーション量を調節します。ノブを左に回しきると僅かに歪みが混ざるセッティングになり、DRVをプリアンプのように使用できます。ノブが中央のポジションではマイルドなレスポンス、かつアグレッシブでミュートプレイ時にはタイトなフィールを感じられます。ハイゲイン設定ではファズに近いサウンドに変化し、タイトさは抑えられつつマッシヴな低域を出力します。

CUT - TURNS DOWN THE TREBLE

高域をフィルターするハイカットを調整します。右へ回すとギター信号のトレブル成分をカットしていきます。このノブの調整でロー、ミッドレンジ、トレブルの成分を変化させ全体のバランスを整えられます。他のノブの設定によっては、CUTを左に回しきりオフにすると良いこともあります。特にDRVノブが最低または最大のポジションのとき、特に有効です。

VOL - TURNS UP THE LEVEL

ペダル全体の音量を調整します。ベッドルームにいるときやお休み中の赤ちゃんがいるときは音量を下げる必要がありますが、このペダルはラウドな音量のときにベストなサウンドになるよう設計されています。これはDRVノブがどんな設定のときでも（ローゲインのときでさえも）言えます。このノブを上げていくとペダル内部のプリアンプ回路が貴方のアンプにパンチを与えます。クリッピング部の性質上、このペダルはかなりラウドなキャラクターを持っています。

TIPS

DRVノブとCUTノブは相互に影響し合うようデザインされています。どんなゲイン設定でもグッドなサウンドを出力できますが、DRVノブでゲインを調整するたびにCUTノブも同時に調節する必要があることに気づくでしょう。私はまずゲインを好みに設定したら、次にCUTを少しダーク過ぎるくらいまで上げます。その後CUTをサウンドがクリアになるまで少しだけ戻してやるとうまくいきます。私の経験では、DRVがローゲインな設定のときはCUTを上げることでさらにマイルドなキャラクターになります。逆にハイゲイン時ではCUTを上げると更にトレブルを足すように動作します。またゲインを上げるとローエンドも追加されます。

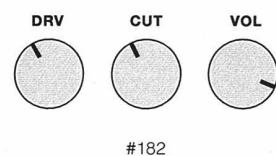
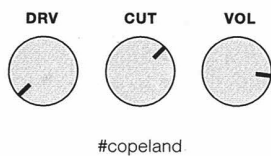
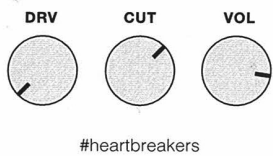
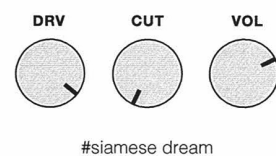
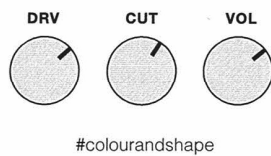
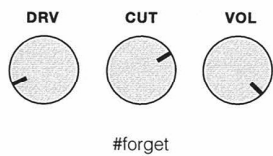
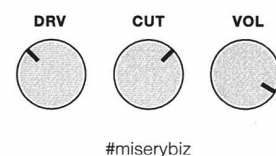
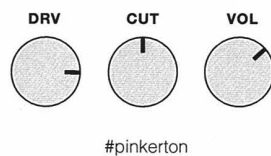
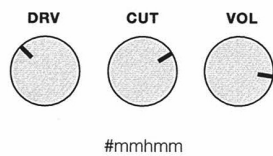
CREDITS / THANKS YOU

JOHN ASHLEY (Bondi Effects) - エンジニア、レイアウト、設計

私の良き友人、John Ashleyにたくさんの感謝を送ります。彼のアイデア、辛抱強さ、応援がなければこのペダルは無かったでしょう。私達はこのプロジェクトに3年以上前から取り組んできました。そして今DRVをリリースできることを誇らしく思います。

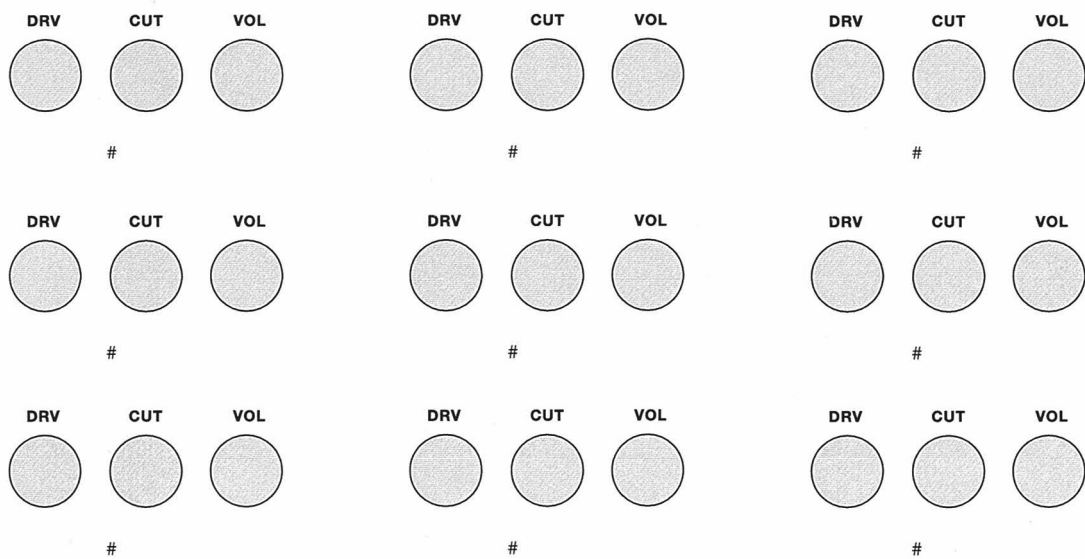
EXAMPLE SETTINGS

これらの設定でギター信号に十分なローエンドとトレブルを確保できるよう、私は長い時間をかけ微調整を繰り返しました。また信頼できる耳を持つたくさんの友人から助言をもらいました。DRVのコントロールはシンプルですが、たくさんの可能性を秘めています。たった3つのノブで最大限の幅広いサウンドを楽しむことができ、自分だけのトーンを作り出せます。ノブの調整はいつでも大歓迎です。



ADD YOUR OWN SETTINGS

自分だけのサウンドを見つけましょう。私がこのペダルで気に入っていることの一つに、たった3つのノブで数え切れないほどのトーンを楽しむことができます。貴方が自分だけのサウンドを見つけることは、他の誰かもオリジナルのサウンドを見つけることに繋がります。自分だけのセッティングを見つけてここに追加し、ここに書き込んでください。プレイしているところをビデオに撮り、自分だけのハッシュタグをつけて@1981inventionsまでシェアしてください。



EXTRA SPECIAL THANKS TO:

Grant Wilson (BIG EAR pedals), Jeff Hime (sonic design, builds), Jake Germany (logo), Paul Spears (enclosure design, prototyping), Ryan Nole (Kangaroo Press), Kelli Schaefer (Cully Craft), Karen Schierhorn (DRV Manual graphic design), Clark and Marva Hoopes, Josh Petersen (Music City Mgmt), Alex Perkins (Alex Perkins Builds), Andy Kim (Sinusoid Cables), Jim Colella (Pedaltrain), Josh Thompson and Bryan Lopez (Gearnerds, AmbientNotes); Colt Westbrook (Walrus Audio), Blair, Brandon, and Micah (Eastside Music Supply), Bill Mitchell (Billiam Jeans), Bryan Laursen (Quiet Theory), Jason Goodwin (Got It Got It Need It), Nathan Hussey (All Get Out), Ping (Sangsouvanh Khounvichit), Matt Pickett, Caleb Fisher, Philippe Herndon (Caroline GCO), Jack Roan (Noble Amplifier), Gideon Boley (Gearhangs)